



▲刺繍が施された油単。これは家浦二頭獅子舞の特徴を引き継いでいます

「小笠原古流名部戸二頭獅子舞」を市無形民俗文化財に指定

詫間町の名部戸自治会に今も受け継がれている名部戸二頭獅子舞。五穀豊穡、厄払いを祈願して行われており、県指定無形民俗文化財「家浦二頭獅子舞」から教わったという言い伝えが残っています。今回の調査で、獅子頭、油単、衣装、芸などに家浦二頭獅子舞と共通する特徴があることが確認され、言い伝えを裏付ける結果となりました。これで、市指定文化財は123件となりました。



▲菊地良太さん(右)の作品は、部屋全体を黒板に改装。「昔、無くした落とし物」をテーマに描きます



▲発泡スチロールで似顔絵の飾りを作りました



▲森山泰地さん(左)のワークショップでは、栗島の西浜海岸に流れ着いた漂流物を使って作品づくり

粟島芸術家村事業 7/15 日々の実学校(旧粟島中学校) 思いを描く、形にする 招へい芸術家とワークショップ

5月から栗島で滞在しながら作品づくりを行っている、菊地良太さんと森山泰地さん。ワークショップは、それぞれの芸術家が創作活動を行っている旧栗島中学校の教室で行われ、参加者の皆さんは作品づくりに夢中になっていました。



新猪ノ鼻トンネル工事現場見学会 香川県で最長となる道路トンネルの工事現場を見学 7/23 財田町内

平成32年の開通を目指し、現在建設が進められている新猪ノ鼻トンネル(仮称)。見学会には、近隣住民である財田町から約200人が参加し、普段見られない工事現場を実際に見ながら、熱心に説明を聞いていました。



バイオマス資源化センターみとよ見学会 日本初のリサイクル技術を間近で 7/30 バイオマス資源化センターみとよ

見学会には市民315人が参加。市内の家庭から出た燃やせるごみを微生物で処理する工程を間近で見たり、施設の特徴を聞いたりして、環境にやさしいごみ処理について理解を深めました。



8/5 仁尾竜まつり

夏はみとよだ！ 大盛り上がりの夏祭り！

市内各地で行われた夏祭り。今年も子ども連れなど、たくさんの方が訪れました。仁尾竜まつりでは、長さ35mを超える雨乞い竜への「水あぶせ」が大盛り上がり。担ぎ手たちはびしょ濡れになりながら、迫力ある練り歩きを見せました。魚のすくい取りでにぎわったのが、水辺の納涼祭。15,000匹の稚魚が放流された川で、子どもたちはめいっぱい水遊びを楽しみました。



8/6 水辺の納涼祭

みとよHOT NEWS

デイリー版はっとニュースは 市ホームページで [三豊市](#) [検索](#)

▶水辺の納涼祭で、大久保謙之丞にちなんで、水にまつわる実験を行いました



謙之丞かかし寄贈式 謙之丞かかしがふるさとへやってきた 7/29 財田町公民館

さぬき市のNPO法人「さぬきニコニコ倶楽部」から三豊市へ大久保謙之丞と弟の彦三郎をイメージしたかかしが贈られました。このかかしは、子どもの理科離れを予防する活動を行っている「さぬきニコニコ倶楽部」が、水辺の納涼祭に出演するのを記念して作られたもの。

現在は、財田町公民館に飾られていますので、ぜひご覧ください。



▲中央2件のかかし(右:大久保謙之丞、左:彦三郎)をいただきました

8/4・5 津嶋神社 夏季大祭



7/30 比地大地区 七夕祭り 子ども会大会



8/12 たくま港まつり



第46回 たくま港まつり